

山小屋でLPガスをお使いの皆さまへ

# 入浴中・調理中に 気分が悪い、頭が痛い...

## こんな経験はありませんか？



(一酸化炭素)



# それは **CO中毒** であつた 可能性があります！

CO中毒って、  
なぜコワイの？



**COはきわめて毒性が強く、しかも無色・無臭**

そのため、気づかないうちに中毒症状を起こし、気づいた時には身体の自由が奪われて死亡事故に至る恐れもあります。

気分が悪い、頭が痛い等、CO中毒の軽い症状は風邪や登山疲れ等と似ているため見分けにくく、見逃される危険性があります。特に山小屋は密閉空間となしやすく、CO中毒事故が発生する危険性が非常に高くなっています。

COは、どうして  
発生するの？



**COが発生する原因の多くは換気不足**

ものが燃焼するためには、新鮮な空気(酸素)がたくさん必要です。空気が不足したままガス機器を使い続けると不完全燃焼を起こし、有毒なCOが発生する危険があります。

ガス機器の不適切な設置や劣化、給気と排気の設定の不良、点検不足等、CO中毒事故の多くは換気が不十分な状態での使用が原因となっています。

CO中毒を防ぐためにはどうすればよいのでしょうか。**そのポイントは裏面で▶**



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

# CO中毒の発生を防ぐには、ガス機器を正しく設置し、正しく使う必要があります。

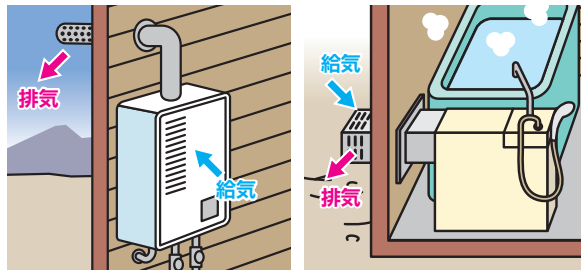
## タイプの確認

風呂がま等が「屋内用」か「屋外用」かを調べ、正しく設置されているか確認しましょう。

屋外用のガス機器が屋内に設置されていた場合には、屋外に移すか屋内用の機器に取り替える等の改善を行いましょう。

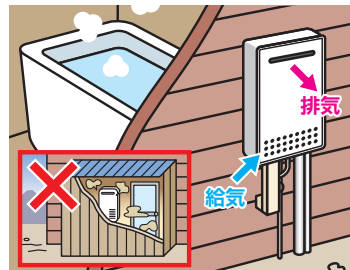
## 屋内用

- 給気は室内から、排気は排気筒を通して屋外へ行うもの。
- 給気と排気を給排気ダクトで行うもの。



## 屋外用

- 給気と排気を屋外で行うもの。
- 屋外用は、小屋囲いや屋内設置は絶対にしてはいけません。

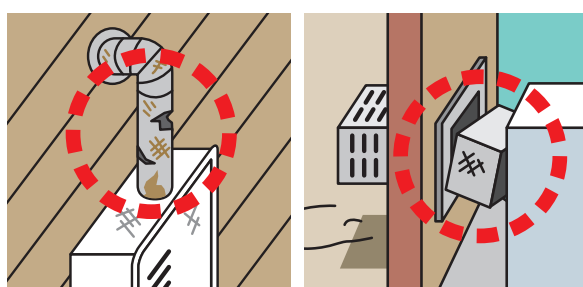


## 排気筒の確認

風呂がま等が屋内用であった場合には、排気筒が付いているか、付いていても壊れていないか確認しましょう。

排気筒が取り付けられていない場合には、正しく付けましょう。また、排気筒が壊れていたり外れている時は修理ましょう。

## 排気筒の劣化、外れ



## 給排気口の塞ぎ



## ガス機器の取り替え等はLPガス販売店へ連絡を

風呂がま、排気筒、配管などの設置や変更は、液化石油ガス設備士の資格が必要です。改良工事に関する不明な点は、LPガス販売店に相談してください。

# CO中毒の発生を防ぐには、給気と排気の設備を正しく設置し、換気に関する安全確認の徹底が必要です。

## 給排気の確認

給気口及び換気扇（排気口等）があるか確認ましょう。

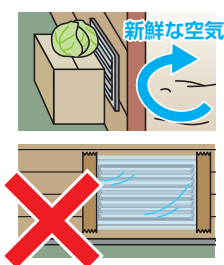
給気口が箱等で塞がれている場合には、それを取り除くと共に、障害物を置かないように周知し、実行ましょう。

## 換気扇の確認

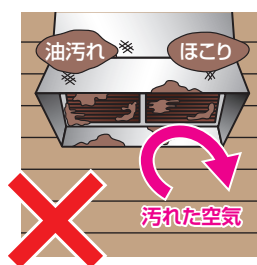
コンセントが外れていないか、正常に作動しているか確認ましょう。

ガス機器を使用するときは、必ず換気扇のスイッチを入れるように周知し、実行ましょう。また、窓がある場合は、ときどき窓を開け換気ましょう。

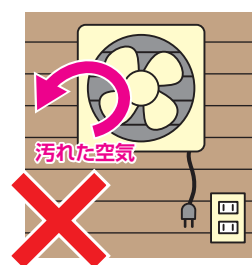
給気口をふさいだ状態でガス機器を使用



油汚れやほこりで排気口がふさがれた状態でガス機器を使用

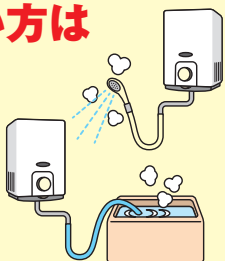


換気扇のコンセントが抜けたままでガス機器を使用



## こんな使い方は絶対禁止!

小型湯沸器からのホースの延長やシャワー接続による長時間使用は不完全燃焼の原因となり大変危険です。



●緊急時連絡先

●LPガス販売店